

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 1-1
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	8, 5 7 2 円	
支出年月日	令和 5 年 5 月 2 日	
支 出 内 容	令和 5 年 4 月 18 日 I C T パーク（北海道旭川市）の視察利用料 $30,000 \text{ 円} \times 1/7 \div 4,286 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} = 8,572 \text{ 円}$	
支 出 先	別添，領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	☒ (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため，上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

別紙

領収書添付用紙

支出書整理No.

1-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領収書

No.

発行日

2023/4/18

福山中議会

様

金額

¥30000-

但し 4/18 ICTパーク視察利用料として

上記正に領収いたしました。

内訳

税別金額

消費税額

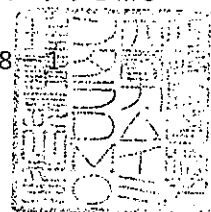
一般社団法人大雪カムイミンタラDMO

〒070-0033

旭川市3条通7丁目418-1

オクノ6F

TEL: 0166-73-6968



支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 1-2
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	196,280 円	
支出年月日	令和 5年 5月 2日	
支 出 内 容	令和5年4月18日～4月20日, 行政視察(北海道旭川市、北見市)への出張旅費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	☒ (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2023年5月2日

(代表者) 大田 祐介 様

¥98,140

但, 4月18日~4月20日

行政視察(北海道旭川市、北見市)への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	59,240円	北海道旭川市、北見市
日 当	9,300円	3日
宿 泊 料	29,600円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石 口 智 志



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2023年5月2日

(代表者) 大田 祐介 様

¥98,140

但、4月18日～4月20日

行政視察(北海道旭川市、北見市)への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	59,240円	北海道旭川市、北見市
日 当	9,300円	3日
宿 泊 料	29,600円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 喜 田 絃 平



1-2

C

ICTパークは、まちなかの賑わいやICTに関心の高い人材の育成などを目的に、令和3年2月に駅前映画館内に開設された施設で、管理・運営は一般社団法人が行っている。

メインは3階にある180名収容可能なeスポーツスタジアムで、約5m×3mの大型LEDビジョンや高性能ゲーミングPC10台を備えている。最大5対5のスポーツバトルが可能であり、道北のeスポーツの拠点として、また世界大会への登竜門として展開していくとしている。その他1階には、eスポーツのトレーニングジムやフリーWi-Fiが整備されたコミュニケーションスペースなどが整備されている。

デジタル技術の進展に伴いeスポーツ人口は確実に増えており、選手の育成やICTに強い人材の育成の場として期待できるが、eスポーツの主力は中高校生が中心であり、施設の稼働率や使用料収入などには課題が残っている。

※eスポーツ：コンピューター上の対戦をスポーツとして捉えたもの

○ 4月19日（水）13時20分～15時20分 行政視察「書かない窓口」

北見市の書かないワンストップ窓口は、平成24年に新人職員が市役所を利用してみるという利用者目線での業務改善からスタートし、案内表示のカラー化や申請書類の統合、手続きチェックシートの導入などを経て、平成27年にフロント業務を担うシステムを独自開発して、「書かない、回さない、漏れがない」ワンストップ窓口を実現している。

窓口で受け付ける申請書に内容を聞き取りでプレ印字（書かない）し、内容はRPAによる自動処理を経て証明書類の出力や住民基本台帳システムの入力処理がなされている。またライフイベントに伴う手続きはシステムが自動判定処理し、来庁者が窓口を回る回数を削減するとともに業務の効率化を実現している。（回さない・・・関連手続きの自動判定）

窓口DXのシステム導入が目的ではなく、バックヤード業務までのトータルで業務改革を考え、あくまでも市民（お客様）目線でのDX実現をめざしている。

旭川市のICTパークは福山市規模でも費用対効果を考えると難しい面があると思えるが、子ども科学館や図書館にeスポーツを一部取り入れることは中高校生の居場所づくりとして今後の流れを注視していく意味があるのではないかと思える。

北見市の窓口の業務改善については、業務に合わせてDXを導入するのではなく、市民目線での業務の改善を進めるうえで、デジタルを最大限活用していくことが重要であると教えてくれている。

いずれも、本市の課題やこれからの取組に大きなヒントを与えてくれるものであり、今回学んだことを整理し、議会質問等を通して市に提案していきたい。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 1-3
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	23,062 円	
支出年月日	令和 5年 6月 2日	
支 出 内 容	令和5年5月30日, 行政視察(岡山県勝田郡奈義町)への出張旅費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	☒ (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-3

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2023年5月31日

(代表者) 大田 祐介 様

¥14,422

但、5月30日

行政視察(岡山県奈義町)への
出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	11,322円	岡山県奈義町
日 当	3,100円	1日
宿 泊 料		
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石 口 智 志



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2023年5月31日

(代表者) 大田 祐介 様

¥3,100

但、5月30日

行政視察（岡山県奈義町）への
出張旅費

[内 訳]

上 記 正 に 領 収 い た し ま し た

	金 額	摘 要
交 通 費		車に同乗
日 当	3,100円	1日
宿 泊 料		
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 木 村 素 子



領収書添付用紙

支出書整理No.

1-3

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 津山

お問い合わせは、西日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-924-863
上記番号をご利用になれないお客さまは
06-6876-9031 (通話料有料)

23年 5月30日11時42分

車種 普通

通行料金 ¥3,520

(現金)

—入口料金所— 福山東

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号202-00620953-00



ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 福山東

お問い合わせは、西日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-924-863
上記番号をご利用になれないお客さまは
06-6876-9031 (通話料有料)

23年 5月30日18時02分

車種 普通

通行料金 ¥2,020-

(現金)

—入口料金所— 山陽

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号203-03331656-00



1-3

研究研修・調査報告書

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	令和 5 年 6 月 2 日
代 表 者	大 田 祐 介 	報 告 者	石 口 智 志 
参 加 者	石 口 智 志 木 村 素 子		
実 施 日	令和 5 年 5 月 30 日 ～ 令和 5 年 5 月 30 日		
研究研修・調査等の場所	岡山県勝田郡奈義町 奈義町役場		
目 的	令和元年合計特殊出生率 2.95 を記録した奈義町における子育て支援・少子化対策を学び、本市の同施策及び地域の活性化に活かす。		

研修内容

○ 5 月 30 日 13 時 30 分～15 時

視察：少子化対策について（岡山県奈義町役場）

平成 14 年合併の意思を問う住民投票を行い単独町制を選択した奈義町は、その後の人口減少に対応するため平成 24 年子育て応援宣言を行い、前後して子育て支援策の拡充を進めた結果、平成 26 年には合計特殊出生率 2.81 となり、その後一旦減少に転じたものの、平成 29 年から上昇に転じ、令和元年に 2.95 を記録している。

奈義町の子育て支援策は多岐にわたっており、経済支援としては、①保育料が国基準の約半額（第 2 子はその半額、第 3 子以降は無料）②小中学校の給食費の半額を町負担）③小中学校の教材費を無料化④高校生までの医療費無料⑤高校生への就学支援として年額 24 万円の支援金⑥大学生に町独自の奨学金（卒業後町への定住で返還免除）⑦予防接種の助成を行っており、その他特定不妊治療への助成や中学 3 年生までの子どもを育てるひとり親に年額 5 万 4 千円を支給（第 2 子以降は 1 人 2 万 7 千円を加算）、在宅育児をする保護者に毎月 1 万 5 千

円の支援金を支給している。

住む場所の提供として平成 23 年から平成 27 年にかけて若者住宅（賃貸）を 81 戸（満室）建設したほか、賃貸住宅不足を解消するため民間賃貸住宅の建設への助成も行っている。

働く場所の提供については、工業団地への企業誘致に取り組むとともに、子育て世代やシニア世代がアルバイト感覚で就労できる仕組みとして「しごとコンビニ事業」に取り組んでいる。

○ 5 月 30 日 15 時～15 時 30 分

視察：なぎチャイルドホーム

子育て世代が気軽に通える施設として、常駐する「子育てアドバイザー」が育児に関する相談にのるほか、子どもの社会的経験の場となるような活動を行っている。地域住民による子どもの一時預かり「すまいる」や自主的な保育活動である「自主保育たけのこ」などを行っており、親同士の交流の場となっている。

人口減少は町の存続に関わるという危機感と、少子化対策は高齢者対策でもあるという考えから、議員定数の削減や行財政改革に取り組み、約 40 億の予算のうち約 2 億円を子育て支援に充て、様々な施策を展開している。

高い合計特殊出生率の鍵は、住むところ、働くところ、子育て負担の軽減のほか、子育ての悩みや喜びの共有や周りが子育てを応援してくれるなど「安心感」が大きいとしている。本市においても、予算を伴う事業だけでなく、子育て世代が「安心感」を感じられるような施策となるよう、各施策のブラッシュアップに取り組むべきと考える。

そういった観点から、本市の施策への提言や地域で取り組む子育てなどの支援策に活かしていく。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 1-4
科 目 (該当○印)	☒ 1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	48,070 円	
支出年月日	令和 5 年 7 月 3 日	
支出内容	2023年 8月3日～4日 橋本市中央卸売市場の調査研究のため (橋本市 橋本市) の出張旅費	
支 出 先	別紙のとおり	

領 収 書 (該当○印)	☒ 有 (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	☐ 無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 _____ 印 _____

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領 収 書

(会派名) 水 曜 会

5 年 7 月 3 日

(代表者) 大 田 祐 介 様

¥ 48,070-

2023年8月3日～4日 福井県福井市 (福井市中央卸売市場)
 流通対策協議会へ
 派遣の2日間の出張旅費

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	28,620	福井県福井市
日 当	4,650	1.5日
宿泊	14,800	1泊
計	48,070 円	

(会派名) 水 曜 会

(名 前) 連 石 武 則



研究研修・調査報告書

1-4

会 派 名	水曜会	報 告 日	令和 5 年 8 月 12 日
代 表 者	大田 祐介 	報 告 者	連石武則 
参 加 者	連石武則		
実 施 日	令和 5 年 8 月 3 日 ~ 令和 5 年 8 月 4 日		
研究研修・調査等の場所	福井市中央卸売市場（福井市大和田 1-101）		
目 的	① 市場施設規模、整備状況並びに市場活性化の方策等研修 ② 福山地方卸売市場の今後の整備運営の参考とする		

研究研修・調査等の概要

令和 5 年 8 月 4 日 6 時 ~ 9 時

福山地方卸市場では現在令和 9 年度（2027）を目途に老朽化した市場の再整備計画策定に向け取り組んでおり、福井市中央卸売市場は令和 3 年度から 10 年間の経営戦略を策定し、魅力的な市場及び機能的な市場を基本目標とする中長期プランの取り組みを始めている最中であり施設先として時機を得た市場である。

福井市中央卸売市場は圏域人口が 62 万人、敷地面積は 140,198 m²。対する福山地方卸売市場は圏域人口 70 万人、敷地面積 55,500 m²となっており、福井市中央は福山地方のおよそ 3 倍の面積を有しており、現地での状況確認においても実に広大でゆとりのある施設配置となっていた。

福井市中央施設の経緯は昭和 39 年（1964）に旧施設の老朽化に伴って現在地に移転。令和 2 年（2020）の卸市場法の改正により国の認定市場となるなど、順調に推移してきていると感じる。しかしながら市場開設から 60 年を迎え、施設の老朽化は大きな課題であり、施設の維持管理については施設の長寿命化を基本として取り組んでいる。予算としては毎年 1,500 万円を計上し、ほかに改修、更新費用として都度予算計上しているとのことで、今後の維持費の増高が懸念されるところであるが、市の直営として施設の維持管理は担保されているようであり、施設の再整備計

画は未検討であるとのことである。現在の取り扱い品目は水産、青果、花きとなっている。

ソフト面では市場の魅力アップに向けイベント開催を定例化しており、市内の小中学校、高校などの市場見学の積極的受け入れや、情報誌の積極的展開が見て取れ、市直営としての充実ぶりがうかがえる。

これらのことを踏まえ、福山地方卸売市場は民営としての立ち位置を堅持しながら、限られたスペースで効率と安全面に配慮するなら、現在の市場施設状況では担保が難しいと考えられる。今後の再整備計画に向け市としても積極的に関わるなかで、圏域の食の安全・安定供給に寄与すべく取り組むべきと考える。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No.
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	1-5
金 額	12,110 円	
支出年月日	令和 5 年 7 月 3 日	
支出内容	奈義町視察代金 + 振込手数料 (5/30)	
支 出 先	別紙のとおり	

領 収 書 (該当○印)	☒ (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	☐ 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

領収書添付用紙

支出書整理No.

1-5

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

中銀キャッシュサービスご利用明細

毎度中国銀行をご利用いただきありがとうございます。たたいまお取扱いいたしました明細は下記のとおりでございます。お取扱いいたしましたお振込みの金額は、お振込みの金額に手数料を加算しております。お振込みの金額に「-」印がある場合は、お振込みの金額に手数料を加算しております。お振込みの金額に「-」印がある場合は、お振込みの金額に手数料を加算しております。

取引店番	取引日	お振込み内容
6130105-06-02	お支払い	
銀行番号	取引店番	口座番号
IC01680323	*****	*****
お振込み金額		¥12,000
手数料		¥110
おつり		
お振込み後の残高		

ご案内		
お振込明細		
中国銀行		
日本原支店		
お受取人 普通		
ナギ*チヨウカイケイカンリシヤ オカ*タ		
ナギ*様		
ご依頼人		
フクヤマシキ*カイ スイヨウカイ 様		
TEL		

14:38

01-02-383-05 (600,000) 4 04

0061 中国銀行

1-5

令和5年5月30日

広島県福山市議会 水曜会 様

岡山県勝田郡奈義町豊沢 306 番地 1
奈義町長 奥 正 親
岡山県勝田郡奈義町長之印

行政視察代金の請求について

このことについて、令和5年5月30日に実施いたしました、奈義町行政視察代金
をご請求いたしますので、当町指定口座にご入金をいただきますようよろしくお願い
申し上げます。

記

- 1 請求金額 12,000 円
- 2 請求の内容 令和5年5月30日実施の行政視察料として
- 3 振込口座 中国銀行 日本原支店
普通 〇〇〇〇〇〇
なぎちょうかいけいかんりしゃ おか たか き
奈義町会計管理者 岡 貴 樹
- 4 納付期限 令和5年6月30日

【問い合わせ先】

〒708-1392

岡山県勝田郡奈義町豊沢 306 番地 1

奈義町役場情報企画課 松下

TEL : 0868 - 36 - 4126

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 1-6
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	1 4 2 , 2 0 0 円	
支出年月日	令和 5 年 9 月 1 日	
支 出 内 容	令和 5 年 9 月 26 日～9 月 27 日, 行政視察（宮城県岩沼市、名取市）への出張旅費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	☒ (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2023年9月1日

(代表者) 大田 祐介 様

¥71,100

但、9月26日～9月27日
行政視察（宮城県岩沼市、名取
市）への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	64,900円	福山市社会福祉協議会
宿 泊 料	(上記に含む)	からの見舞もりによる
日 当	6,200円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石 口 智 志



領収書添付用紙

支出書整理No. 1-6

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2023年9月1日

(代表者) 大田 祐介 様

¥71,100

但、9月26日～9月27日
行政視察（宮城県岩沼市、名取
市）への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	64,900円	横山市社会福祉協議会
宿 泊 料	(上記に含む)	からの見積もりによる
日 当	6,200円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 木村 素子



研究研修・調査報告書

1-6

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	令和 5 年 9 月 29 日
代 表 者	小 林 茂 裕 	報 告 者	石 口 智 志 
参 加 者	石口 智志 木村 素子		
実 施 日	令和 5 年 9 月 26 日 ～ 令和 5 年 9 月 27 日		
研究研修・調査等の場所	視察 岩沼市社会福祉協議会 宮城県岩沼市 " 震災遺構仙台市立荒浜小学校 宮城県仙台市 " 津波復興記念資料館開上の記憶 宮城県名取市		
目 的	被災地視察研修～東日本大震災から学ぶ～		

研修内容

○ 9 月 26 日（火）14 時～15 時 研修・交流 岩沼市総合福祉センター

岩沼市は名取市を挟んで仙台市の南に位置しており、東日本大震災では、海岸に面した玉浦地区を中心に大きな被害を受けたが、いち早く復興に取り組み、海岸から離れた高台に、玉浦西地区として新たな集落を構成し集団移転を行った。

岩沼市社会福祉協議会では、復興に向けたボランティアセンターの運営や仮設住宅での避難生活の支援、集団移転のサポートを行い、いち早く復興への後押しを行った。その取り組みにより、岩沼市は復興のトップランナーといわれている。

研修では、その取り組みを学んだあと、質疑応答を行い、出席者からは日常的な災害対応への備えや、仮設住宅での生活支援に係る質問があった。

○ 9 月 26 日（火）15 時 10 分～16 時 10 分 視察 千年希望の丘

被害が多かった玉浦地区は、津波の衝撃を和らげるため小島を模した十数個の人工の丘や、造成林でおおわれており、千年希望丘の上部には、甚大な被害を受けた 6 つの集落の名前が彫られている。また震災を忘れない、風化させないという

思いを込めた日時計は、震災が発生した3月11日午後2時46分に四角いボックスにかかるように作られている。

○ 9月27日（水）9時30分～10時30分 視察 震災遺構 荒浜小学校

仙台市中心部から東に約10km離れた沿岸部に位置する荒浜小学校は、震災時、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階部分まで津波が押し寄せるなか、救出されるまでの27時間のビデオで紹介されている。津波被害を受けた校舎の見学とともに、語り部の説明を交えながらビデオを見て、改めて津波の怖さと速やかな非難の重要性を実感させられた。

○ 9月27日（水）11時～12時 視察 津波復興記念館 関上の記憶

津波で子どもの同級生や知人を失ったという語り部と一緒に、名取市の関上地区にある慰霊碑を巡った。

関上中学校遺族会慰霊碑は、震災で亡くなった14名の生徒の保護者が建てた慰霊碑で、14人の中にはその日卒業式を終えた3人も含まれていた。慰霊碑に刻まれた14人の名前をなぞりながら、震災の記憶とともに、亡くなった我が子を忘れないでほしいという思いも伝わってきた。

日和山（漁に出るに海の様子を見るため創られた人口の山）近くの公園にあったという碑には過去の震災と津波の教訓が刻まれていたが、長年公園に設置されていたにもかかわらず読んだものはほとんどいなかった。過去の教訓が生かされなかった悔いと東日本大震災の教訓を未来に伝えたいとの思いから近くに新たなモニュメント（名取市震災メモリアル公園）も作られていた。

市社協の関係者からは復興に向けた取り組みの大切さを学ばせてもらったが、その後の3人の語り部に共通していたのは、誰もが津波の怖さを知っていながら、それが避難に結びつかなかったこと、逃げようと説得して回っていた人までもが津波に巻き込まれてしまったことへの無念さであったと思う。

本市も、南海・東南海地震による津波被害が想定されているが、同じ過ちを繰り返さない防災教育や避難のあり方について真剣に検討する必要があると思う。東北で学んだことを、議会を通じて市に提案していきたい。